

# 東京 肝臓のひろば

令和7年(2025年)12月号 第269号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201  
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564  
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会  
<http://www.tokankai.com>



## (公財)宮川庚子記念研究財団 第30回肝臓病医療講演会

# 慢性肝疾患の 自然経過を変える

## ～薬と生活習慣による最新の医療戦略～

場所：連合会館401会議室(千代田区神田駿河台3-2-11)

日時：令和7年9月28日(日)  
14時～16時15分

講師：黒崎 雅之 先生  
(武蔵野赤十字病院 病院長)



司会(米澤敦子) NPO法人東京肝臓友の会の米澤敦子です。今日は武蔵野赤十字病院長の黒崎雅之先生による講演で、「慢性肝疾患の自然経過を変える」薬と生活習慣による最新の医療戦略についてお話いただきます。

みなさん、先生のことはよくご存じだと思いますが、簡単に先生のプロフィールをご紹介します。1987年東京医科歯科大学を卒業後、同医学部第二内科に入局、武蔵野赤十字病院消化器科副部長、同部長、同病院長を経て2024年より同病院長になられています。それでは黒崎先生、どうぞよろしく願います。

黒崎 武蔵野赤十字病院の院長をやっております黒崎です。今日は慢性の肝臓病の自然経過を変えるというお話です。予防や治療をすることで変えられるようになったということをお伝えいたしますね。

私は1987年の卒業で、実は今日が誕生日で63歳になります(拍手)。

私の人生の前半は大学で研究をやらせていただいて、論文もたくさん書いた時期もありましたが、高度の急性期病院である武蔵野赤十字病院に移ったのが2003年で、それから22年間は多くの患者さんを見てまいりました。病院で働くのは非常に大変なことです。すが、救急車を見ながら、患者さんを見ながら、研修医を教育しながら、毎日楽しく過ごしております。

それだけではなくて私は肝臓の病気を研究することが好きで、多くの仲間と多くの論文を書きながら、患者さんにとって大事なことを調べて研究しています。去年、日本肝臓学会の会長を務めさせていただいたのですが、この写真をご覧ください。「I LOVE LIVER」私は肝臓が大好きです」ということで、これからみなさんに肝臓についてのお話をいたします。



## ◆肝がん

「慢性肝疾患の自然経過を変える」とテーマに掲げましたが、何もしないと肝臓の病気はちよつとずつ進んでしましますが、それをなんとか止めるにはどうすればよいか、というのが本日のテーマです(図1)。

「慢性肝炎から肝硬変になって、がんができれば終わりだ」と思われるかもしれませんが、実はそんなことはないんです。がんにならないように予防するほうが、もちろんいいのですが、がんができてもいい治療法があるということをまず最初にお話いたします。

「がんが見つかりましたが、まだ早期2。」

なので手術しましょう」というのも、もちろん1つの手段なのですが、もう1つの手段として、体の外から針を刺して熱で焼くラジオ波治療やマイクロ波治療があります(図3)。5ミリくらいの小さな傷がつきますが、治療時間は10分くらいで完全にきれいになります。1週間くらいの入院で、再発しても何回でもできます。

図1

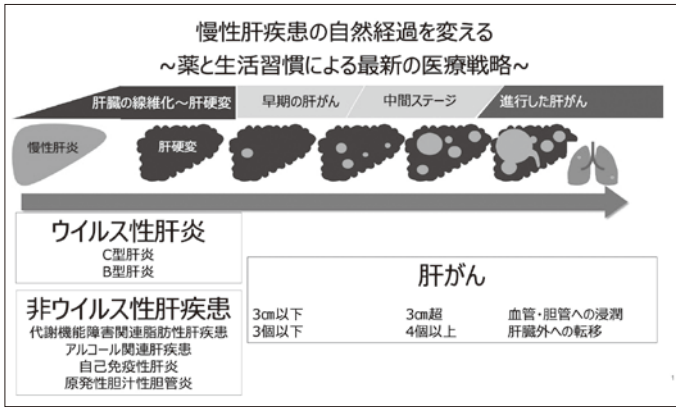


図2

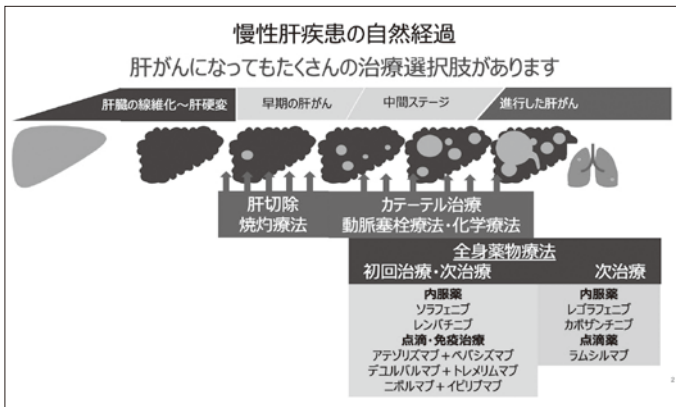


図3

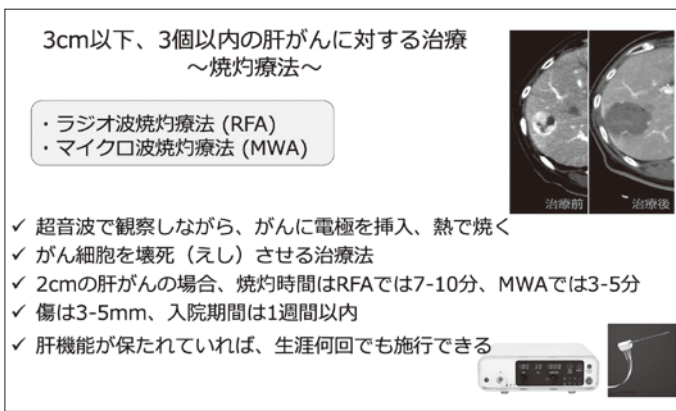


図4



ただしがんの数が多いと、針を刺して治療できないので、足の付け根からカテーテルという細い管を入れて、肝臓の中に抗がん剤を入れる冠動脈化学塞栓術で治療します(図4)。

これらは昔からある治療法ですが技術は進歩していて、新しい塞栓物質であるM1ビーズを使用した治療法もあります。ビーズという薬のカプセルを血管の中からがんに向けてギョツと詰めると、血液の流れを止めるとともに、カプセルの中から抗がん剤がじんわりと出てきてすぐく効果が高いのです。このような治療をデブ・テース(DEB-TACE)(図5)。

一番進歩がすごいのが化学療法の薬です。左から飲み薬、飲み薬、飲み薬、点滴、そして免疫療法という薬も出てきて、どんどん薬は進歩しています(図6)。ざっくりとお話ししますと、抗がん剤は辛い治療でした。なぜかという、抗がん剤はがん細胞によく効きますが、まわりの正常な細胞にも障害があるから副作用がきつかったんですね。新しい薬はがんだけを狙いうちする薬

### 新しい塞栓物質(M1ビーズ)を使用したDEB-TACE

- ✓ がんにも流れる血管に、薬を含んだ「マイクロビーズ」を流し込む治療
- ✓ ビーズは「薬のカプセル」のようなもの
- ✓ がんの中で長時間じっくり薬を放出する
- ✓ 同時に血流を止めることで、がん細胞に栄養を行き渡らなくする

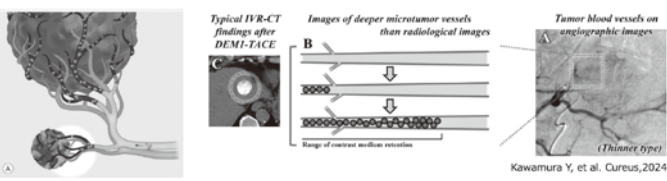


図5

なので、副作用は少なく薬に治療ができます。しかも効果も高いんです。

がんの治療をするときに、ほかからで元気な人のほうが長生きするというデータがあつて、これは科学的にも証明されているんですね。だから免疫がしっかりしている人のほうが、がんが治りやすいわけです。その免疫の力とも似ているのですが、がん細胞をやっ

### 肝切除・焼灼療法・TACEの治療効果が期待できない肝がんに対する治療～分子標的薬治療～

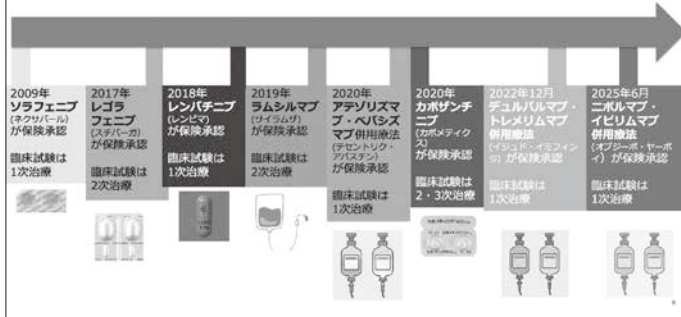


図6

つける体の免疫だけではがんは治らないので、薬の助けも必要になるわけです。

がん細胞を攻撃するリンパ球を元気にする薬や、免疫を抑え込もうとしている阻害物質を抑える薬など、いろいろな薬を組み合わせると、がんは薬で治るようになったわけです。

例えば大きながんがある患者さんで残念ながら手術できなかったため、薬

### 慢性肝疾患の自然経過

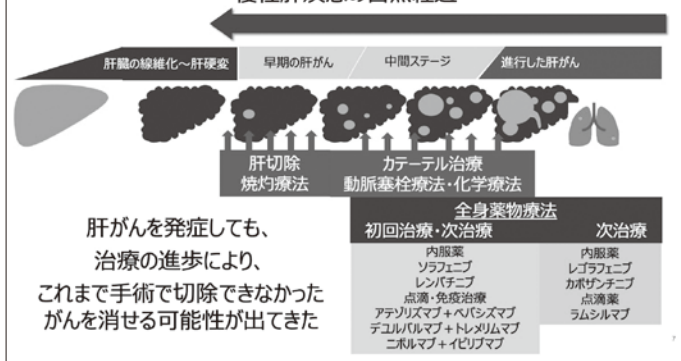


図7

で治療しました。するとがんは真っ黒になって壊死して小さくなり、そこで動脈塞栓療法をしたら、ますます小さくなって、ちょっとだけ残ったところをラジオ波で焼いたんです。大きかったがんはなくなりました。大きながんでも消すことができたんですね。また、血管の門脈の中までがんが入ったステージ4という一番進行した段階の患者さ

んに免疫療法をしたら、どんどん小さくなり、血管の中に入ったがんも消えて、がんは4年間でなくなったこともあります。別の患者さんでも大きながんが血管内に入っていて、残念ながら手術はできなかったのですが、免疫療法をしたらどんどん小さくなって、完全に切除することができてがんがなくなりました。これまで手術できなかったがんも、消せる可能性が出てくる、ついにそのような時代がきたんですね。(図7)。

治療していると、このような患者さんが目の前に何人も何人も出てきます。病気が進むのをなんとか抑えたいと治療に励んでいます。がんになってしまふということとは残念なのですが、がんになっても手遅れではありません。今はがんができて、いろいろな治療を駆使すれば、がんを小さくして治すことがかなりの確率でできるようになっています。そういう時代になったんだと思っています。

日本、あるいは世界で肝臓がんは増えてきているのか減っているのか、データ

### 肝がん（肝細胞がん）の疫学 日本のデータ

- 世界ではがん死亡の3番目（男性2番目、女性6番目）
- 患者数は増加傾向<sup>1)</sup>
- 日本では死亡数は緩やかに減少（年間 2.3万人,2023年）<sup>2)</sup>

	男性	女性	男女計
第1位	肺	大腸	肺
第2位	大腸	肺	大腸
第3位	胃	膵臓	膵臓
第4位	膵臓	乳房	胃
第5位	肝臓	胃	肝臓

1) Globocan 2024  
2) 国立がん研究センター がん情報サービス

図8

をお見せします(図8)。がんによる死亡の原因で見ると、日本では肝がんは男性が5位、女性が7位となっていて、両方合わせると5位なので、やはりがんで亡くなる人のなかの一定数は肝臓がんなのですが、緩やかに減ってきています。

何が原因で肝臓がんになったかの日本のデータを見ると、残念ながらB型

### 日本における肝がんの成因の年次変化

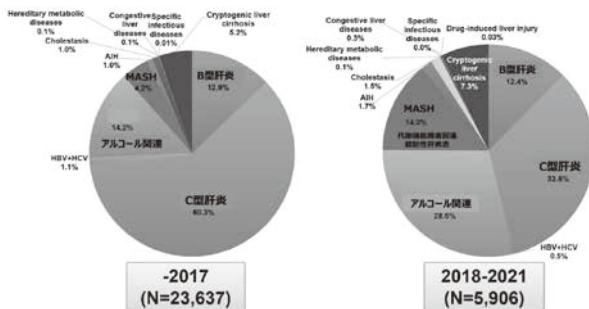


図9

肝炎はあまり減っておらず、10%から15%いるんですね(図9)。顕著なのはC型肝炎が原因でがんになる人はほとんど減ってきています。増えてきているのはアルコール関連の肝疾患です。お酒を飲むことで肝臓が悪くなっている人になると、MASH(代謝機能障害関連脂肪性肝疾患)という昔で言うところの脂肪肝からがんになる人が増え

### 日本における肝硬変の成因の年次変化

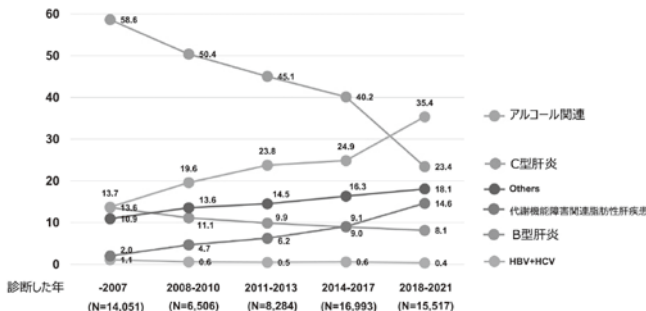


図10

ています。昔と今を比べると、C型肝炎は治療ができていますが、B型肝炎の治療はまだ完全にウイルスを排除することはできないのががんの発生は大きくは変わらず、アルコール関連とMASHが増えていきます(図10)。

幸いなことに日本では全体的に肝臓がんによる死亡が緩やかに減っています。日本における肝硬変や肝がんの原



## 情報BOX

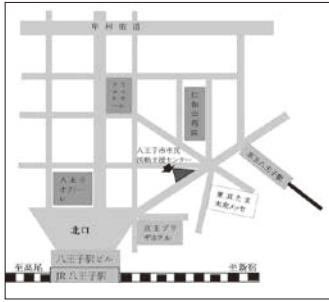
### ◆八王子肝友会

「何でも語ろう会」

出席者の近況や治療・薬剤等についての情報交換を行います。

日時 2月8日(日) 10:15～12:00  
場所

八王子市民活動支援センター  
八王子市旭町1-1 フアルマ802ビル



JR中央線  
八王子駅北口 徒歩約5分  
京王線  
京王八王子駅中央口 徒歩約3分

申込 不要  
費用 無料  
問合せ 東(ひがし)

TEL 090-4122-6229

✉ yhigashi@jcom.zaq.ne.jp

会のホームページまたは  
https://kanyuka802.blog.jp/



## 東京肝臓友の会 事務局 冬期休暇のお知らせ

東京肝臓友の会事務局は、

**12月26日(金)～1月7日(水)**まで、冬期休暇をいただきます。

FAX(03-5982-2151)はお受けいたします。

よろしくお願いいたします。



### 今号の表紙絵 (再掲載) 常盤橋

〔東京都千代田区〕  
日本橋川に架かり、常盤橋公園から日本銀行側に通じる橋。大正一五(一九二六)年二月の架橋。

江戸時代の常盤橋門の跡にある。始めは天正一八(一五九〇)年に架けられたといわれ、三代将軍家光の頃までは大橋とも浅草口橋とも呼ばれていた。改名の上意を受けた町年寄奈良屋市右衛門は、寄宿の浪人から「常盤」の名を得て、これを献上。「金葉和歌集」の「色かえ



ぬ松によそえて東路の常磐の橋にかかる藤浪」の意であるといわれている。現在の石橋は、枳形に用いた石を使って、明治一〇(一八七七)年に架けられた。神田川の眼鏡橋がなくなり、皇居の「石橋」とともに貴重な石橋である。  
(千代田区ホームページより)  
きり絵と文 佐藤麻士

## 東京肝臓友の会 活動日誌

10月・11月

10月  
11月

電話 30件 メール 2件  
電話 34件 メール 0件

- |  |   |
|--|---|
| <p>10/2 「東京肝臓のひろば」268号入稿、米澤<br/>神奈川県肝臓医療コーディネーターズキルアップ研修会、江口研究班としてWeb参加<br/>日本総研「MASLD有識者会議」コメント締め切り 米澤</p> <p>10/3 日肝協代表者会議準備委員会Web 川田、窪田、甲賀、萩部、古川、山田、米澤<br/>日肝協会計監査、窪田、岡田、山田、萩部、米澤<br/>治験アンバサダー座談会「寄合」事前web会議 古川</p> <p>10/4 東京都肝臓コーディネーターズキルアップ研修会確認テスト締め切り、米澤<br/>B型肝炎支部会、山田、萩部、甲賀、阿曾@ハワイア</p> <p>10/5 PSC医療講演会 公開相談会 講師中本伸宏先生、古川</p> <p>10/7 10/10放送「大人のラヂオ」オープニングエンディング収録、米澤<br/>アツツWebセミナー聴講、米澤<br/>あかつき印刷 来訪、冊子印刷相談 古川<br/>第2回治験アンバサダー座談会「寄合」登壇 古川</p> <p>10/9 八橋意見交換会、八橋先生来訪、及川、米澤、@東肝事務所</p> <p>10/10 「東京肝臓のひろば」268号グララ着チェック、米澤<br/>BI MASLD/脂肪肝の啓発について意見交換 萩部、古川</p> <p>10/11 AMED Web報告会 古川、米澤</p> <p>10/14 ひろば268号校正原稿締め切り、米澤<br/>都議共産党面談、東京都への予算要望書説明、川田、上大田、米澤</p> <p>10/15 佐賀県 江口病院ピアサポート外来、米澤<br/>日肝協代表者会議 来賓(厚労省)木村室長挨拶収録、川田、萩部</p> <p>10/16 GPPIミーティング 米澤<br/>日肝協常任幹事会Web、川田、野田、米澤</p> <p>10/17 ラジオNIKKEI「大人のラヂオ」11/14放送分収録、ゲスト「知って肝炎プロジェクト」スペシャルサポーター石川ひとみさん、米澤</p> <p>10/19 宮川財団主催ミニ講演、相談会講師四柳定先生<br/>10/24肝炎対策推進協議会前の日肝協幹事会、川田、野田、古川、萩部、米澤</p> <p>10/20 3団体肝炎フォーラムWeb、川田、萩部、米澤</p> <p>10/21 日肝協代表者会議 来賓(日本肝臓学会)竹原理事長挨拶収録、川田、萩部、米澤</p> <p>10/23 自己免疫性肝疾患患者アンケート、ダイジェスト版作成打ち合わせ、ユニプロフォート来、訪古川</p> <p>10/24 第35回肝炎対策推進協議会開催、萩部出席、米澤参加<br/>八橋研究班作業部会、及川、米澤</p> <p>10/25 自己免疫性肝疾患東北ブロック立ち上げ交流会@仙台 安齋、古川、米澤</p> <p>10/27 日肝協ロビー活動、川田、野田、米澤</p> <p>10/28 佐賀県肝臓医療コーディネーター養成研修会パネルディスカッション収録、@佐賀大学 米澤</p> | <p>10/30 NHK「クローズアップ現代」Web取材、米澤<br/>「東京肝臓のひろば」268号納品、発送作業、全員<br/>東京都障害者福祉会館、ピア相談、米澤</p> <p>11/1 日肝協Web代表者会議、幹事会、窪田、萩部、山田、古川、米澤事務所参加</p> <p>11/3 3団体偏見差別PT@半蔵門、及川、阿曾、米澤<br/>自己免疫性肝疾患 地域ブロックweb会議 安齋、安齋、古川</p> <p>11/4 アフリカ実行委員会Web会議、<br/>日本総研「有識者会議」Web打ち合わせ、米澤</p> <p>11/7 東京都予算要望書回答、川田、甲賀、萩部、米澤<br/>3団体偏見差別PT Web会議 米澤<br/>フルーラボWebミーティング、米澤</p> <p>11/9 11/243団体偏見差別PTシンポジウム打ち合わせ、米澤</p> <p>11/11 大原薬品工業来訪、治験について、米澤<br/>ラジオNIKKEI「大人のラヂオ」11/14放送分オープニングエンディング収録、米澤</p> <p>11/13 佐賀県肝臓医療コーディネーター養成研修会講演データ締め切り、米澤</p> <p>11/14 滋賀県肝臓医療コーディネーター養成研修会、米澤江口班として参加</p> <p>11/17 11/243団体PTシンポジウム、パネラーデータまとめ、米澤</p> <p>11/18 島上研究班会議@ステーションコンファレンス、米澤</p> <p>11/19 佐賀県江口病院ピア外来、米澤<br/>八橋研究班作業部会、浜松町会議室、米澤<br/>江口研究班「電話相談A解析」大阪大学大学院「健康・医療心理学研究室」平井先生、まとめ米澤</p> <p>11/21 11/29兵庫県肝臓医療コーディネーター養成研修会データ締め切り、米澤</p> <p>11/24 日本総研「第2回有識者会議」患者の立場出席、米澤<br/>3団体偏見差別PTシンポジウム「人権教育について考える」@星楼会館半及川、阿曾、加藤、米澤</p> <p>11/25 ノボルティスクファーマ@Webミーティング、米澤</p> <p>11/27 八橋12/6開催シンポジウム打ち合わせ、及川、米澤<br/>2026年肝臓学会総会抄録締め切り、及川、米澤<br/>東京都肝臓コーディネーター多職種交流会Web打ち合わせ、米澤</p> <p>11/28 日肝協ロビー活動、川田、野田、萩部、米澤<br/>3団体肝炎フォーラム、及川、阿曾、米澤</p> <p>11/29 兵庫県肝臓医療コーディネーターズキルアップ研修会、講演、パネルディスカッション 米澤<br/>PBC・AIH患者交流会 安齋、古川</p> <p>11/30 東京都障害者福祉会館、ピア相談、米澤</p> |
|--|---|

東京肝臓友の会主催 東京都委託事業

# 肝臓病と内視鏡診療について

日時

2026年 1月31日(日) 13:30~15:00

会場

田町グランパークカンファレンス 401ホール  
東京都港区芝浦3-4-1

講師

災害医療センター 光学診療部長 消化器内科部長  
板倉 潤先生

申込

挟み込みチラシを参照

参加無料  
定員100名

## 同病者による面談相談

☆肝臓病のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日時: 1月30日(金) 3月30日(月) \* 12月はお休みです

13時30分~16時30分 (1人1時間)

場所: 東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象: 東京都在住、在勤の方優先

主催: 東京都

相談料: 無料 (予約制)

相談員: 米澤敦子 (東京肝臓友の会 事務局長)

### 申込方法

※電話でお申し込みください。

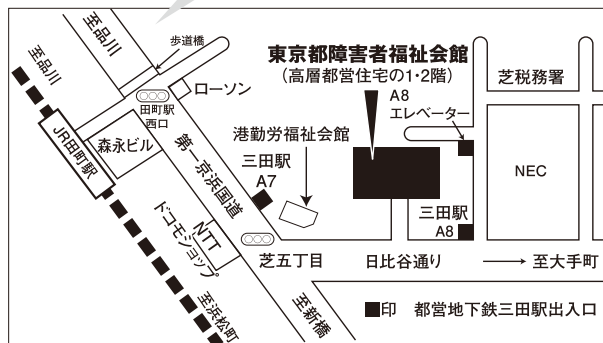
【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2

☎ 03 (3455) 6321

### 【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。